

油化学関連シンポジウム in 鳥取

～ 温故知新：材料の新しい価値の創出！ ～

油化学分野に貢献する新規分子が数多く合成・評価され、トイレットリー製品や化粧品、食品や医薬品に応用されてきました。本シンポジウムでは、古くから利用されてきた糖類やリン酸エステルといった材料に新しい価値を吹き込む3名の講師からご講演を頂きます。また、今回はポスター発表に加え、懇親会も開催します。鳥取の地で皆様と議論できることを楽しみにしております。

主催：公益社団法人 日本油化学会 関西支部

共催：一般財団法人 油脂工業会館

日時：2024年12月13日（金）13:00

会場：とりぎん文化会館（鳥取県民文化会館）2階第2会議室

（〒680-0017 鳥取県鳥取市尚徳町101-5）

【アクセス】 <http://cms.sanin.jp/p/torikenmin/10/>

参加費：一般1,000円、学生 無料 定員 70名（先着順）

懇親会費：一般4,500円、学生2,000円

（参加費および懇親会費は、当日会場にて現金でお支払い下さい）

申込方法：以下のフォームからお申し込み下さい。申込締切 2024年11月1日（金）17時まで

https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSfmZQFrA8BVC7etenuQmh667c4ft7E-WlxkhIN9-DuPQ7il9dQ/viewform?usp=sf_link

（個人情報は、受講確認とセミナーご案内以外の目的には使用しません）

世話人：〒680-8552 鳥取県鳥取市湖山町南4-101

鳥取大学工学部化学バイオ系学科 赤松 允顕 E-mail: makamatsu@tottori-u.ac.jp

<プログラム>

13:00～13:10 【開会挨拶】

13:10～14:00 【招待講演1】（京大生存圏研究所）伊福 伸介 氏

「鳥取の地域資源「キチンナノファイバー」の機能と社会実装の取り組み」

鳥取はカニの水揚げ日本一。大量に発生するカニ殻の有効活用を目的に、新素材「キチンナノファイバー」を開発した。肌に塗ってよし、食べてよし、植物に与えてよしの多様な生理機能をもとに、大学発ベンチャーを起業。社会実装に向けた取り組みを紹介する。

14:10～15:00 【招待講演2】（鳥取大学 工学部）佐々木 紀彦 氏

「糖モノマーのデザインに基づく超分子グライコポリマーの構造制御」

超分子グライコポリマーは、糖モノマーが非共有結合により集積することで構築され、機能性材料としての応用が期待されている。本講演では、糖モノマーのデザインによる超分子グライコポリマーの構造制御について紹介する。

15:10～16:40 【ポスター発表】

16:50～17:40 【招待講演3】（日光ケミカルズ株式会社）田中 佳祐 氏

「モノアルキルリン酸エステルの溶液物性と化粧品への応用」

モノアルキルリン酸エステルは中和塩の組み合わせによって、特徴的な会合体を形成することが分かった。本講演では、その構造体の特徴とそれを生かした化粧品への応用展開について紹介する。

18:15～20:15 【懇親会】